



徳山ロータリークラブ週報

創立1953年

2010年(平成22年)6月24日 (ロータリー親睦活動月間)

唱 歌	手に手つないで 今月の愛唱歌「時の流れに身をまかせ」
プログラム	年度末反省アッセンブリー (会長→会員組織→クラブ管理→ クラブ広報→奉仕プロジェクト→ロータリー財団)



撮 影 者: 林 靖彦

撮影場所: 東京・墨田区

コメント:

5月17日に墨田区十間橋より撮影した「東京スカイツリー」です。
この時点で349mでした。
日々高くなっていきますので楽しみです。

* 本日のゲスト *

徳山ローターアクトクラブ

本年度会長
本年度幹事
次年度会長

篠原敬一郎 君
岩本 陽子 さん
奥原 巧 君

会長の時間

* 6月19日(土)ホテルサンルート徳山に於いて、インターアクトクラブ顧問教師懇談会が行われ、松村次年度新世代奉仕委員長が出席いたしました。

* 皆様のご協力のもと、会長の職務を無事終了することができました。
有難うございました。

幹事報告

1. 例会変更のお知らせ

クラブ名	日にち		例会場	変更理由
徳 山	6 月 2 4 日	木	夜間例会18:30～ (年度末反省アッセンブリーの為)	
	7 月 2 2 日		親睦夜間例会 18:30～	
岩 国 西	6 月 2 5 日	金	ホテルかんこう	本年度最終夜間例会 18:30～
徳 山 セントラル	6 月 2 8 日	月	ホテルサンルート徳山	年度末反省例会
光	6 月 2 8 日	月	ホテル松原屋	休会 (定款第6条第1節適用)
防 府 北	6 月 2 8 日	月	防府グランドホテル	最終例会
周 南 西	6 月 2 9 日	火	遠石会館	年度末反省アッセンブリー 18:00～
山 口 県 央	6 月 2 9 日	火	山口グランドホテル	休会 (定款第6条第1節適用)
防 府	6 月 2 9 日	火	アパホテル	休会 (定款第6条第1節適用)
徳 山 東	6 月 3 0 日	水	笠戸島ハイツ	年度末反省夜間例会
山 口	6 月 3 0 日	水	ホテルかめ福	休会 (定款第6条第1節適用)
岩 国 中 央	6 月 3 0 日	水	ホテルかんこう	本年度最終夜間例会 19:00～

2. 受領物

周南西RC	創立 30 周年記念誌
地区事務局	2010-2011 年度地区関係負担金について
光RC	IM記録DVD、 クラブ会報No.54
山口県広報公聴課	平成 22 年度「やまぐち県政出前トーク」パンフレット

周南市交通安全 対策推進委員会	平成22年「夏の交通安全県民運動」の推進について 平成22年度総会資料
--------------------	--

3. 2010～2011年度国際ロータリー第2710地区 地区大会仮登録のご案内

期 日	行 事	会 場	登 録 料
10月8日 (金)	記念ゴルフ大会	庄原カントリークラブ 〒727-0014 庄原市板橋町 600 Tel0824-72-3000	8,000 円
大会1日目 10月9日 (土)	本会議(会長・幹事) RI会長代理歓迎 晩餐会	三次グランドホテル 〒728-0014 三次市十日市南 1-10-1 Tel0824-63-3111 グランラセーレ三次 〒728-0014 三次市十日市南 1-5-5 Tel 0824-62-1234	会員 15,000 円
大会2日目 10月10日 (日)	本会議 〈エクスカーション〉 懇親会	広島県立みよし公園・カルチャーセンター 〒728-0016 三次市四拾貫町神田谷 Tel0824-66-3366	会員 13,000 円 家族 7,000 円

委員会報告

会員組織

《 ロータリー情報 》

・ ロータリー用語

Rotary Foundation of RI, The 【RIのロータリー財団】

寄付を受け、それに基づきロータリークラブおよび地区を通じて実施される承認された人道的および教育的プログラムの支援のために資金を支給する非営利法人。ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリー綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解の平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することである。

担当:多治見直幸

《 会 合 》

・6月17日(木)事務局に於いて、新入会員インフォメーションが行われ、7名(石川・河野・木村・高橋(泰)・林・福谷・三住)が出席しました。

奉仕プロジェクト

《 社会奉仕 》

・種芋の植付作業のご案内

と き : 6月27日(日) 9:00～12:00

と ころ : 「不我欺園」周南市須々万本郷中市 621-1

※出欠表を回覧いたしますのでご記入下さい。(ジャンボタクシーを手配しております。)

《 新世代奉仕:ローターアクト 》

徳山RACより……6/23(水)「年間活動報告・卒業式」

本年度最終例会を行いました。まず年間活動報告として理事会をはじめ各委員会ごとに思い入れのある例会等を中心に発表していただきました。その後、今年度は2名が卒会されるため卒業式を行いました。アクト在籍が長い方々が卒業のため

とても惜しいですが、受け継いだことをしっかり糧にして今後の徳山 RAC を更に良いクラブにしていけるよう精進して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

「エコキャップ運動」ですが、6/23 時点での回収数 134,338 個、ワクチン 167.92 人分となっております。

・例会のご案内

1. 日 時 : 7月14日(水) 19:30～例会
2. 場 所 : 周南市中央地区公民館
3. 内 容 : 「前期クラブアッセンブリー」

クラブ管理

《 出 席 》

・前回(6/17)未メイクアップ者報告

橋本君、松村君、水野君

※ 出席率100%にご協力をお願いします。(6月30日まで)

・6月10日(木)の修正出席率 100 %

《 プログラム 》

・7月度例会行事予定

1日(木)	クラブアッセンブリー「活動・運営方針」
8日(木)	会員 水本雄二 君 緊急出演!「最新医療現場の報告」 エンジョイ入院生活のすすめ
15日(木)	音楽工房ラング・ド・舎 代表 尾上かおり 氏 「ロシア芸術とサーカス」 他では話せないボリショイサーカスの裏話あれこれ
22日(木) 18:30～	南蛮屋 店主 竹中豊子 氏 (インタビュアー:水本雄二会員) 「カウンターの奥から見た徳山」 日本最高齢の女性バーテンダーが語る
29日(木)	ソニーマーケティング株式会社 西日本営業本部 中国支店 営業推進課マネージャー 内山陽司 氏 「必見! 必聴! 最新家電情報」 3D テレビって何だろう?

《 近隣クラブ7月度プログラムのご案内 》

周 南 西	6日 (火)	クラブアッセンブリー①
	13日 (火)	前田ガバナー公式訪問
	20日 (火)	クラブアッセンブリー②
	27日 (火)	未定
徳 山 東	7日 (水)	小野ガバナー補佐訪問
	14日 (水)	クラブアッセンブリー
	21日 (水)	前田ガバナー公式訪問
	28日 (水)	未定

光	5日 (月)	クラブアッセンブリー①会長方針
	12日 (月)	クラブアッセンブリー②各委員長活動計画
	19日 (月)	休会(祝日の為)
	26日 (月)	新年度夜間例会 18:30～
セントラル	5日 (月)	クラブアッセンブリー
	12日 (月)	新日本石油エネオス野球部元監督 坂口裕之 氏 「やる気をおこさせるコミュニケーション」
	19日 (月)	休会(祝日の為)
	26日 (月)	→25日(日)親睦家族例会 ボウリング&ビアガーデン

《 親睦活動 》

・ゴルフ同好会【拙速会】のご案内

と き : 7月10日(土) 9:10 スタート

ところ: 周南カントリークラブ

ロータリー財団

2009-2010 年度国際親善奨学生: 徳光祐二郎君より近況報告が届きましたので、ご報告いたします。

徳山ロータリークラブ 会員の皆さま、大変ご無沙汰しております。

徳山ロータリークラブから国際親善奨学生としてご推薦頂き、現在、西アフリカの
小国、シエラレオネ共和国に留学させて頂いております徳光祐二郎です。貴重な機
会を頂きましたことを、改めて御礼申し上げます。

私は昨年11月7日に日本を出国しましたので、こちらに来て半年以上が過ぎたこ
とになります。おかげさまで、いまのところ大きな怪我や病気なくこちらでの活動に専
念できています。以下、簡単ではございますが、こちらの近況報告などをさせていただきます。

日本も梅雨に入る頃かと思いますが、シエラレオネも最近、雨季に入りました。ま
だその初期ですので週に数日程度の降雨ですが、ただし一回の降雨量の多さに驚
いています。まさに、「バケツをひっくり返したような雨」です。家屋を破壊し、死者も
出るほどの雨とは聞いていましたが、実際に見て納得しました。これからさらに降雨
の頻度は増し、雨量も多くなるといわれ、例年は8月にそのピークを迎えるそうです。
1週間くらいの間ずっと滝のような雨が降り続くと言われるそのピークが過ぎると、次
第に程度は和らぎ、毎年11月頃に雨期明けを迎えることになります。

サッカーのワールドカップが始まっています。今回大会は史上初のアフリカ大陸で
の開催ということで、ここシエラレオネでもかなり盛り上がっています。シエラレオネは
予選で負けたので今回出場しませんが、それにも関わらずワールドカップ一色です。
おそらくそれは、国民的スポーツといってもいいくらいサッカーが盛んで、国全体で
の関心も高いからだと思います。多くの人にとって娯楽の中心にサッカー観戦があり
ますし、日常の会話でもサッカーがよく話題に出てきます。ですので、ワールドカップ
の開会以来、多くの人が昼から夜まで、テレビにかじりついている光景を最近よくみ
かけます。皆がテレビを持っているわけではありませんので、テレビのあるところに人
が集まります。そして、1台のテレビを大人数で囲み、自分のお気に入りの選手やチ

ームに大声援を送るわけです。



【写真①】ワールドカップをテレビ観戦する人たち。この人たちの視線の先に、テレビがあります。ここでは、30人くらいが集まり、20インチくらいのテレビを囲んでいました。



【写真②】村民が大集合。実は、この中（やや左側部分）に私がいるのですが、見えますでしょうか？

さて、すでに申し上げましたように、こちらに到着して半年以上が過ぎました。最初の4ヶ月くらいは、もっぱら首都フリータウンで過ごしました。諸手続きを済ませたり、大学に行ったり、フリータウン・ロータリークラブの例会に定期的に出席したり、機会をつくっては首都内の国際機関のスタッフにインタビューしたりしました。そしてこの間に、例会での卓話の機会を頂いたので、徳山ロータリークラブや地元周南について紹介しました。その際、「回天」についても触れましたが、この国の人にとってもその事実は衝撃的に受けとめられたようです。

次の2か月くらいの間に、マケニ(Makeni)という、シエラレオネ第3の地方都市周辺の村落を回り、自分の研究のためのフィールドワークという目的で、現地の住民を対象に情報収集活動をしました。「第3の地方都市」と言いましても、現地の人にとって、肌の色の違う外国人を見かけることはとても珍しいようで、道を歩けばかなりの注目を浴びますし、村に着けば多くの村民が集まってきます(写真②参照)。村に入ると、まずはパラマウント・チーフ(最高首長)というその地域での統率者と会い、挨拶し、村に入ることと村内で活動することの許可を求めます(写真③参照)。



【写真③】
Pakimasabong という村の
パラマウント・チーフ。



【写真④】「武器と開発との交換」(Arms for Development)を通じて村落に提供されたゲストハウス。看板左下部分に、資金提供国を紹介する「Japan」の文字と国旗の絵

そしてこれからの2ヶ月程度で、こんどはコノ(Kono)というシエラレオネ第5の地方都市周辺の村落を回ります。シエラレオネはダイヤモンドが採れ、それがかつての

内戦を深刻化させた要因の一つとされているのですが、そのダイヤモンド採掘場があるのがコノです。前述しましたように、これから雨季が本格化するので、天候によっては十分な活動ができないかもしれませんが、とりあえず今週から行ってみる予定です。

このように、大学内での勉強に加え、できるだけ学外での調査活動も並行して行っています。私の場合、シエラレオネ政府と、国連(のなかの一機関である国連開発計画という組織)との共同事業について特に注目し、その評価を行おうとしています。「武器と開発との交換」(Arms for Development)と呼ばれるその事業については、国連を中心にこれまで高い評価や大きな期待が寄せられていたわけですが、現地で住民の声に耳を傾けてみると、必ずしもそのような評価や期待に相応しい成果を挙げたわけではないことが良く分かります。インタビューを行ったり、質問用紙を使ったり、議論をするための場をつくったりして、共同プロジェクトの提供者(政府や国連開発計画)と被提供者(住民)、そしてその関係者(警察、軍隊、NGO など)から幅広く情報を集め、その情報をもとにただ問題点を指摘するだけでなく、学術的な意味を明らかにしたり、政策提言を生み出そうとしているわけです。

わざわざ日本人のあなたが、そんな地球の裏側で、そんなマニアックな事業に注目して、評価なんかしなくてもいいじゃないか——。そういう見方もあるのかもしれませんが。しかし、日本外交が紛争後社会の復興支援を重視し、しかもこの事業資金の大半に相当する5億円程度もの支援を行っている以上、必ずしも日本と関係が薄い事業ではありませんし、重要度の低い対象でもありません(写真④参照)。現地の人から情報を引き出すのはなかなか骨の折れる作業ですが、時間いっぱいかけて、有意義な成果につながるように取り組みたいです。

現在の予定では、この10月末頃までこちらで勉強および情報収集を行い、それから帰国する予定です。いろいろな成果を積み上げたうえで、また皆様の前でご報告させて頂けるよう、しっかりと精進してまいります。

最後に、フリータウンのロータリークラブについて、若干補足的に触れておきます。これまでも、こちらの活動や例会については、いくつか紹介させて頂いたかと思いますが、今回は、首都内で見かける「看板」です。首都内を歩いていると、時折、フリータウン・ロータリークラブの看板を見かけます。その看板を通じて、例会が毎週木曜日1時からBank Complexという場所で行われていること(写真⑤参照)や、Ecobank(民間銀行の一つ)とRoad Authority(日本の国交省にあたる政府機関)と一緒に道路造りに貢献していること(写真⑥参照)などを広報しているわけです。以前、フリータウン・ロータリークラブが資金提供している水供給システムの整備についての新聞をお送りさせて頂いたかと思いますが、いろんな社会貢献事業を、特に資金的に支えているようです。



【写真⑤】シエラレオネの代表的な観光スポットのひとつであるコットン・ツリーのまえに、フリータウン・ロータリークラブの看板。ちなみに、「コットンツリー」ですが、かつてこの木の下に奴隷貿易の拠点があり、奴隷たちはここから欧米に送られました。したがって、今日では「自由と解放の象徴」とされています。



【写真⑥】バス停に、ロータリーの看板。
見えますでしょうか？左側に、大きな看板
(というか、記念碑のようにも見えますが)。
そして右側のバス停の壁に、ロータリーと
Ecobank の広告。

写真は、小さくて見にくいかもしれませんが、申し訳ないのですが、インターネット環境を考えますと、この容量が限界です。また帰国後に、フルサイズの、より見やすいものを使ってご報告させていただきます。

日本でも梅雨に入り、そして暑さに向かうことになりますが、どうぞご自愛くださいませ。また、折を見てご報告させていただきます。

徳光祐二郎拝